

# 技師の読影補助について

～胃がん検診～

愛媛県厚生連健診センター

○ 梶原 篤      吉原 大智      津田 昭洋      藤原 政純      玉井 貴基  
島津 成章      山内 喜志男      佐藤 哲也      木村 浩之      堀江 民三良

## 1. 目的

今回我々は、対策型検診にて発見された胃がん症例を見直すことで、技師がどの程度追加撮影を行い、病変を指摘できたか検討を行ったので報告する。

## 2. 検討対象及び方法

### ① 検討対象

平成 25 年度～平成 26 年度（2 年間）

|            |        |          |
|------------|--------|----------|
| 受診者数       | 45,603 |          |
| 要精検者数 (%)  | 4,519  | ( 9. 9%) |
| 精検受診者数 (%) | 3,621  | (80. 1%) |
| がん発見者数 (%) | 69     | (0. 15%) |

### ② 検討方法

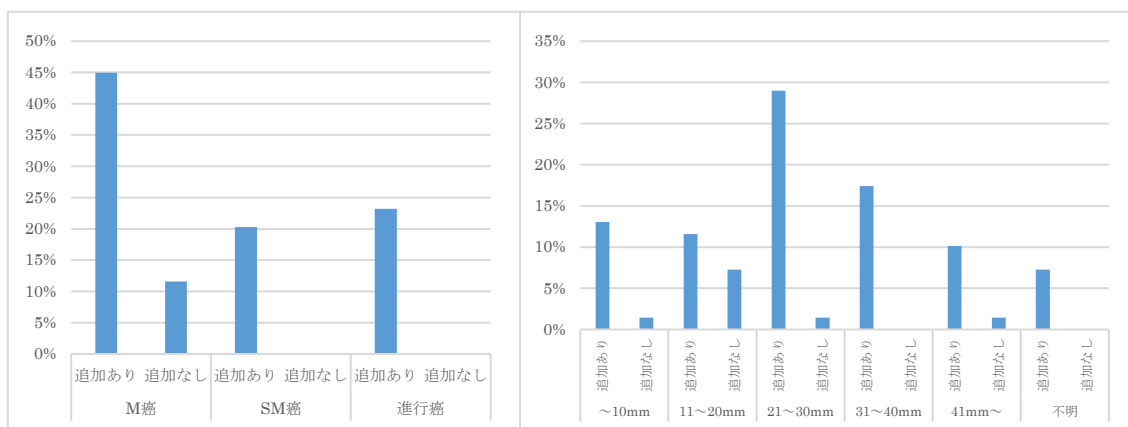
技師の追加撮影の有無及び病変の指摘を深達度・大きさの 2 項目について検討した。

## 3. 発見胃癌症例の詳細

|     | 早期癌 |    | 進行癌 |    |   | 不明 | 合計 |
|-----|-----|----|-----|----|---|----|----|
|     | M   | SM | MP  | SS | S |    |    |
| H25 | 19  | 7  | 2   | 2  | 3 | 2  | 35 |
| H26 | 20  | 7  | 1   | 2  | 2 | 2  | 34 |
| 合計  | 39  | 14 | 3   | 4  | 5 | 4  | 69 |

#### 4. 結果

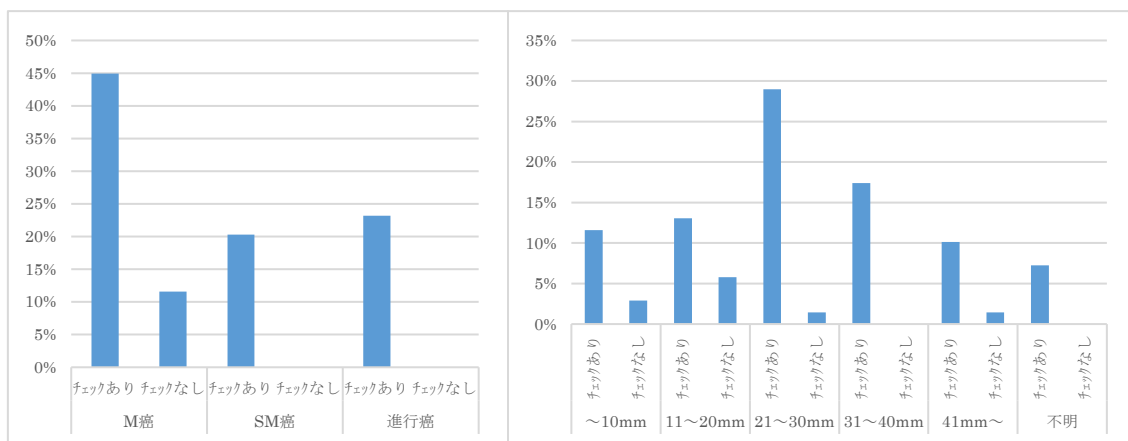
##### ① 追加撮影の有無について（深達度・大きさ）



深達度別にみると、M 癌について追加撮影ありが 44.3%で、追加撮影なしが 11.4%であった。SM 癌・進行癌は、すべて追加撮影がされていた。

大きさでは、10mm 以下について追加撮影ありが、13.0%で、追加撮影なしが 1.4%，11～20mm のもので追加撮影ありが 11.6%で、追加撮影なしが 7.2%，21～30mm で追加撮影ありが、29.0%で、追加撮影なしが 1.4%，41mm 以上で追加撮影ありが、10.1%で、追加撮影なしが 1.4%であった。

##### ② 技師チェックの有無について（深達度・大きさ）



深達度別は、追加撮影の時と同様の傾向を示しているが、大きさについては、追加撮影と比較して、20mm 以下の病変で若干の違いが見られた。

#### 5. 結語

当センターにおける読影補助の取り組みについて述べたが、深達度が深く、病変が大きくなるにつれ、追加撮影及び技師チェックがされている結果となった。

ルーチンでは発見されないような病変を見つけるためには、技師が気づいた些細なことでも、追加撮影することでより発見率に貢献できると考える。